

事業者向け

児童発達支援自己評価表

| | | チェック項目 | はい (%) | どちらとも いいない (%) | いいえ (%) | 改善目標・工夫している点など |
|---------|---|---|-----------|----------------------|--|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 100 | | | 十分に確保している。 |
| | 2 | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 100 | | | 法定基準以上の人員を配置している。 |
| | 3 | 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 60 | 40 | | トイレのバリアフリー、段差のある部分には、移動式のスロープを置いて、必要時に備えている。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 80 | 20 | | 職員会議で改善点などを話し合い、改善に努めている。 |
| | 5 | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 80 | 20 | | 保護者の評価表をもとに、業務改善に努めている。 |
| | 6 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 20 | 20 | 60 | ホームページに公開している。 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | 40 | 60 | 第三者評価は行っていない。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 100 | | | 外部研修、内部研修を行っている。 |
| | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、児童発達支援計画を作成しているか | 100 | | | 保護者や関係機関からの聞き取りをしたり、アセスメントツールを活用するなどして、分析し、支援計画を作成している。 |
| 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 80 | 20 | | 多面的に状況を把握できるように、複数のアセスメントツールを使用している。 | |
| 11 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 100 | | | 保護者によりわかりやすく、また、支援の成果が客観的にわかるように、具体的に設定している。 | |
| 12 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 100 | | | | |
| 13 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 80 | 20 | | プログラムの構成は職員全体で意見を出し合い、立案するようにしている。 | |
| 14 | 活動プログラムが固定しないように工夫しているか | 80 | 20 | | 固定しないように、毎日プログラムをたてている。 | |
| 15 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか | 80 | 20 | | 個別活動、グループ活動を行っている。 | |

| | | | | | | |
|---------------------------|----|---|-----|----|----|---|
| | 16 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 80 | 20 | | 職員で支援会議を行っている。 |
| | 17 | 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか | 100 | | | |
| | 18 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 100 | | | 客観的、具体的な記録をとるようにしている。 |
| | 19 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか | 80 | 20 | | 定期的なモニタリング、支援計画の見直しを行っている。 |
| 関係機関や保護者との連携・関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 100 | | | |
| | 21 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか | 80 | 20 | | 関係者連携会議でそれぞれの役割を確認し、支援している。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか | | 20 | 80 | 対象の児童がいない。 |
| | 23 | 医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関と連絡体制を整えているか | | 20 | 80 | 対象の児童がいない。 |
| | 24 | 保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、移行に向けた支援内容の情報共有と相互理解を図っているか | | 20 | 80 | 移行する児童がいないため、情報共有は行っていないが、日ごろから、関係機関と連携をしている。 |
| | 25 | 小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | | 20 | 80 | 移行する児童がいないため、情報共有は行っていないが、日ごろから、関係機関と連携をしている。 |
| | 26 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 80 | 20 | | 発達障がい者支援センターに助言を頂き支援にあたった。各種研修に参加した。 |
| | 27 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 80 | 20 | | 障害のない子どもと一緒に活動することがあった。 |
| | 28 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか | 80 | 20 | | 自立支援協議会設立の会議に参加した。 |
| | 29 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 100 | | | 利用の日は毎回、連絡帳で状況や課題についてやり取りをした。 |
| | 30 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対しての家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか | 60 | 20 | 20 | 保護者の相談や悩みを聞き、支援を行った。 |

| | | | | | | |
|------------|-------------------------------------|---|-----|----|-----------------------------|---|
| 保護者への説明責任等 | 31 | 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 80 | 20 | | 契約時、更新時に説明をしている。 |
| | 32 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | 100 | | | 個別の支援計画の内容を説明し、保護者に同意を得て、署名をもらっている。 |
| | 33 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 100 | | | 保護者の相談や悩みを聞き、支援を行った。必要な支援ツールを作成し、お渡しした。 |
| | 34 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | 20 | 80 | 感染症拡大防止のため、実施していない。 |
| | 35 | 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 80 | 20 | | 保護者から申し出があった時は迅速に対応し、保護者に報告をした。職員全体に対応について周知した。 |
| | 36 | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 100 | | | ホームページで活動内容を発信している。行事をするときは、案内を発行している。 |
| | 37 | 個人情報に十分注意しているか | 100 | | | |
| | 38 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 100 | | | 伝達ツールを使って、子どもとやり取りをしている。保護者の意思疎通付をしている。 |
| | 39 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 100 | | | 地域の方を招待して、行事を行った。 |
| 非常時等の対応 | 40 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練が実施しているか | 100 | | | 保護者へマニュアルの周知はしていない。避難訓練は年4回実施している。 |
| | 41 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか | 100 | | | 定期的な避難訓練を行っている。 |
| | 42 | 事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか | 100 | | | 予防接種の確認はしていない。てんかんの児童がいない。 |
| | 43 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか | 60 | 20 | 20 | アレルギーのある児童への飲食物の提供をしていない。 |
| | 44 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 80 | 20 | | |
| 45 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 100 | | | 職員の研修や職員の状態の安定を図るために、面談をした。 | |

| | | | | |
|----|---|-----|--|--------------------------|
| 46 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか | 100 | | 説明し、支援計画に記載、保護者に同意を得ている。 |
|----|---|-----|--|--------------------------|

令和4年3月実施